

【実験・体験 No. 8】

(担当部名 企画情報部)

テーマ名	気候変動と適応を考えよう～熱中症予防～
対 象	小学生(5年生)～大人
最大人数	34名
所要時間	60分～90分
学習のねらい	地球温暖化による気候変動が暮らしに影響していることを学び、自分にもできる適応策、特に熱中症対策を学び、命や暮らしを守るために、気候変動に適応することが重要であることに気づく。
内 容 ※実施時間に合わせて 調整する。	<p>気象観測データや動画等から、気候変動の状況、将来予測を学ぶ。実験により、命や暮らしへの影響を視覚的に認識する。</p> <p>気候変動への適応の重要性を理解し、自らできる対策（適応策）を考える。</p> <p>1 家族と考える気候の変化 事前に記入し持参した気候に関する世代別家族アンケートを集計し、気候の変化を感じる。</p> <p>2 数字で見る気候変動 気象観測や将来予測のデータで、気候変動状況や将来予測を学ぶ。</p> <p>3 サーモグラフィ・WBT計を用いた実験 日射の影響、効果的な発汗等について実験し、暑熱対策について考える。</p> <p>4 热中症予防カードの作成 熱中症予防を呼びかけるメッセージを考え、オリジナルカードを作成する。</p>
出前講座の可否○× (注意事項)	○ (実験器具の設営・撤収のため、実施前後の時間が必要。)
必要な感染対策	受付時に検温と手指消毒を行う。 原則マスクを着用する。 実験前後、休憩前後に手指消毒を行う。